

秘

海軍公報號外(郵便)

昭和二十年三月一日(木)
海軍大臣官房

○令(達)

官房備第一二號ノ三

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和二十年二月一日

○發送先

- ▽ 笠置艦裝員事務所
- ▽ 第五航空艦隊司令部
- ▽ 第一航空戰隊司令部
- ▽ 第三四三航空隊
- ▽ 第四五二航空隊
- ▽ 第六〇一航空隊
- ▽ 北東航空隊松輪航空基地派遣隊
- ▽ 官古島警備隊
- ▽ 第二十六震洋隊
- ▽ 第二十八震洋隊
- ▽ 第三百二十七設營隊
- ▽ 第三百三十五設營隊
- ▽ 第三百三十七設營隊

表中第三十二海軍軍用郵便所ノ項ヲ削ル

(參照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ヲ
リ(內令提要卷一、六四ノ九頁)

- 長崎市飽ノ浦、海軍監督官氣付 「テ九五」
- 鹿屋市、鹿屋航空基地氣付 「ウ五七六」
- 岩國市、岩國局氣付 「ウ參貳八」
- 松山市、松山航空基地氣付 「テ壹貳參」
- 佐世保運輸部軍用郵便監督官氣付 「ウ壹七〇」
- 岩國市、岩國航空基地氣付 「イ壹〇九」
- 橫須賀局氣付 「ウ壹〇八、ウ四九參、ウ貳貳貳」
- 鹿屋市、鹿屋航空基地氣付 「イ壹四七」
- 同 「イ壹四八」經山「イ貳壹參」
- 臺灣高雄市廊後、高雄警備隊氣付 「テ壹貳壹」
- 佐世保局氣付、第四海軍軍用郵便所經山「イ壹四壹」
- 京都府天田郡西中筋村字土「テ八九」
- 福井市、福井局氣付 「テ壹四參」

秘海軍公報 號外(郵便)

二五

1629

第三千十二設營隊
第三千二百十設營隊

栃木縣河内郡、城山局氣付「ツ五〇參」
鹿屋市、鹿屋航空基地氣付 小祿航空基地經山「イ登五六」

○ 雜 款

○ 書類再送

自昭和二十年一月二十日 期間佐世保郵便局扱南方方面宛郵便物へ運送ノ途中事故ニ依リ一部亡失セリ

(佐世保海軍運輸部軍用郵便監督官)

秘

海軍公報號外(郵便)

昭和二十年三月十二日(月)
海軍大臣官房

○發送先

第二十一驅潛隊司令	機關長、主計長	第三十八驅潛艇司令	
同	軍醫長	第十七驅潛艇機關長、主計長	
第一〇航空艦隊司令部		第二十三驅潛艇軍醫長	
臺灣航空隊		土浦局私書函第七號「ツ五八〇」	鹿屋市、鹿屋航空基地氣付「イ臺貳八」
臺北派遣隊			「イ臺貳八」經山北隊
宜蘭派遣隊			宜蘭隊
新竹派遣隊			新隊
臺中派遣隊			中隊
花蓮港派遣隊			花隊
臺東派遣隊			東隊
虎尾派遣隊			虎隊
恒春派遣隊			恒隊
高雄派遣隊			高隊
第三一二航空隊		橫須賀局氣付「ツ五七五」	
第六三一航空隊		吳局氣付「イ臺貳五」	
第七二二航空隊		千葉縣香取郡、佐原局氣付「ツ五七四」	
釜山航空隊		朝鮮慶尙南道東萊郡、龜浦局氣付 釜山航空隊	

秘海軍公報 號外(郵便)

二七

1631

第十二魚雷調整班
 第一輸送戰隊司令部
 第三十震洋隊
 第一〇八震洋隊
 第三千十五設營隊
 第三千十六設營隊
 第三千十七設營隊

大村市萱瀬郷今當「ウ五七七」
 佐世保局氣付 上海方面根據地隊司令部經由「テ臺臺九」
 臺灣高雄市廟後、高雄警備隊氣付「テ臺臺貳」
 佐世保局氣付 廈門方面特別根據地隊經由「イ貳臺臺」
 千葉縣山武郡大網町「ウ五臺五」
 同 神奈川縣戸塚局氣付 横須賀施設部教導設營班經由「ウ五七八」
 「ウ五七九」

○雜 款

○書類發送先

當隊及所屬飛行隊宛書類ハ自今左ニ依リ發送相成度

第二〇三海軍航空隊 鹿兒島縣鹿屋市笠ノ原航空基地氣付
 戰團第三二二飛行隊 「七壹壹七」
 戰團第三〇三飛行隊 鹿兒島市鹿兒島航空基地氣付
 「七壹壹七」
 戰團第三一一飛行隊 鹿兒島縣始良郡園分町園分航空基地
 氣付「七壹壹七」
 「七四八」
 (第二〇三海軍航空隊)

○書類再送

自昭和十九年十二月二十一日 期間佐世保郵便局披海南島宛郵便
 至昭和十九年十二月二十日 物ハ運送ノ途中事故ニ依リ全部亡失セリ
 (佐世保海軍運輸部軍用郵便監督官)

1632

秘

海軍公報號外(郵便)

昭和二十年三月十六日(金)
海軍大臣官房

○發送先

✓	第二水雷戰隊司令部	「イ登七〇」司令部
✓	第二十三航空戰隊司令部	吳局氣付 「セ貳登 ヲ七登」
✓	第一〇一航空戰隊司令部	橫濱市、橫濱航空基地氣付 「ツ四八登」
✓	第七〇六航空隊	木更津市、木更津航空基地氣付 「ツ五八參」
✓	第七二一航空隊	鹿屋市、鹿屋航空基地氣付 「ツ四九七」
✓	攻擊第七〇八飛行隊	同 「テ登四貳」
✓	同 第七一一飛行隊	同 「テ登四四」
✓	戰團第三〇五飛行隊	同 「ツ五參貳」
✓	同 第三〇六飛行隊	同 「ツ五參參」
✓	同 第三〇七飛行隊	同 「ツ五八貳」
✓	第九三六航空隊	門司局氣付 「イ參六」經山「イ貳四」
✓	光州航空隊	朝鮮全羅南道光山郡樹樂面 光州航空隊
✓	第三百十六設營隊	兵庫縣加西郡、北條町局氣付 「ツ四七六」
✓	第三百十九設營隊	兵庫縣有馬郡、廣野局氣付 「ツ五〇登」
✓	第三百五十一設營隊	吳施設部庶務課氣付 「イ貳登八」
✓	第三百五十二設營隊	同 「イ貳登九」
✓	聯合艦隊軍法會議	木更津市、木更津航空基地氣付 「ツ四四八」經山第一軍法會議

秘海軍公報 號外(郵便)

二二九

1633

一 第二海軍技術廠
東京都目黒區三田十三番地、海軍技術研究所構内 第二海軍技術廠
一 船舶救難本部
東京都麴町區丸ノ内三丁目六番地 三菱仲二號館内 「イ四參」

司令、軍醫長、隊宛 吳局氣付 冬 月
主計長宛 吳局氣付 涼 月
追テ各艦分離行動多キニ付各艦長宛一通竝ニ給與關係ハ各艦
分任出納官吏宛送付相成度
(第四十一驅逐隊)

○雜 款

○書類發送先ニ關スル件
當班宛郵便物ハ本年一月二十日秘海軍公報(郵便)ニ左記ノ通
指定セラレアルモ館山航空基地ニ誤送ノ向多キ爲事務處理上支
障有之候條留意相成度

記

第三十九魚雷調整班―宮城縣桃生郡矢本町
松島海軍航空隊氣付「ツ五〇九」
(第三十九魚雷調整班)

秘

海軍公報號外(郵便)

昭和二十年三月二十七日(火)
海軍大臣官房

○令 達

昭和二十年三月二十六日

海軍大臣

官房軍第一一〇號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

表中第十七海軍軍用郵便所ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ
事務開始ハ追テ之ヲ定ム

名	稱	設置所	所管	所屬	職	員
第十八海軍軍用郵便所	八丈島	横須賀鎮守府	第三航空艦隊	監督官兼務	一人	奏任
				所長	一人	奏任
				員	十七人	判任
				員	十一人	判任

(參照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(内令提要卷一、六四ノ九頁)

○發送先

- 第一〇五海防艦 艦裝具事務所
 - 第二二七海防艦 同
 - 第七驅逐隊司令
 - 第四海上護衛隊司令部
 - 第三十一戰隊司令部
- 横濱市鶴見區辨天町一七、日本鋼管鶴見造船所氣付
第一〇五海防艦 艦裝具事務所
大阪市西成區北加賀屋町二一一、浪速船渠會社氣付
第二二七海防艦 艦裝具事務所
響司令
鹿兒島縣掛指宿町、指宿航空基地氣付「イ堂壹四」
吳局氣付「テ七四」

秘海軍公報 號外(郵便)

三一

訂正者

1635

第十一聯合航空隊殘務整理班	土浦局私書函第七號 第十一聯合航空隊整理班
第二十二聯合航空隊司令部	鹿兒島縣出水郡、高尾野氣付 「ツ五八四」
第二五二航空隊	千葉縣長生郡、茂原航空基地氣付 「ツ壹八四」
同 郡山派遣隊	福島縣田村郡守山町、第二郡山航空隊氣付 「ツ壹八四 ツ貳貳貳」
同 香取派遣隊	千葉縣匝瑳郡、香取航空基地氣付 「ツ壹八四 ツ貳貳貳」
第七二一航空隊宮崎派遣隊	大分縣宇佐郡柳ヶ浦町、宇佐航空隊氣付 「ツ四九七 ツ貳貳貳」
東京航空隊	東京都蒲田區羽田江戶見町、東京海軍航空隊
觀音寺航空隊(舊國分航空隊)	香川縣三豐郡觀音寺町、觀音寺航空隊
戰團第三〇一飛行隊	松山市生石町、松山航空基地氣付 「ツ五參〇」
同 第三〇四飛行隊	千葉縣長生郡、茂原航空基地氣付 「ツ五參壹」
同 第三一三飛行隊	同 「ツ五參七」
同 第三一六飛行隊	福島縣田村郡守山町、第二郡山航空隊氣付 「ツ五貳〇」
同 第四〇一飛行隊	松山市生石町、松山航空基地氣付 「ツ五參九」
同 第四〇二飛行隊	同 「ツ五四〇」
同 第四〇七飛行隊	同 「ツ五四壹」
同 第七〇一飛行隊	同 「ツ五四參」
攻擊第七〇八飛行隊	大分縣宇佐郡柳ヶ浦町、宇佐航空隊氣付 「テ壹四貳」
偵察第四飛行隊	松山市生石町、松山航空基地氣付 「イ貳〇〇」
第十五震洋隊	佐世保市、佐世保軍用郵便監督官氣付 「セ壹八〇」
第三十三震洋隊	佐世保局氣付 海南警備府經由「イ壹九九」
第一〇四震洋隊	同 舟山島警備隊經由「イ貳壹〇」
第二百二十六設營隊	鹿屋市、鹿屋航空基地氣付
第三百三十五設營隊	沖繩縣島尻郡、小祿航空基地經由「ツ四〇八」
	京都府、福知山局氣付 「テ八九」

一 第三千百十三設營隊
一 高雄船舶救難支部

吳市、吳施設部氣付「ツ五八八」
臺灣高雄市新濱町一ノ三一「イ四參 イ四〇」

隊、司令、主計長宛
機關長、軍醫長宛

樞 樞

(第四十三驅逐隊)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先變更

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

臺灣臺北州臺北市 臺灣在勤海軍武官府氣付「イ登九六」

(高雄警備府附屬飛行隊)

○ 郵便物再送

昭和十九年十月十日以降昭和二十年一月末日迄ノ本艦宛郵便物
ハ事故ニ依リ亡失セルニ付再發送相成度

(驅 逐 艦 霞)